

子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査

市民の皆様には、日頃から市政の推進に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、三沢市では、次代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支える新しい地域社会をつくるため、平成22年3月に三沢市次世代育成支援行動計画（後期計画）を策定し、子育て支援施策を推進してきました。

しかし、今日の子ども・子育てを取巻く環境の変化は大きく、幼児期の学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から、スタートする予定となっています。

そこで、皆様の子育て支援に関するお考え（ご要望）やご意見などをおたずねし、市の「子ども・子育て支援計画」策定に向けた基礎資料を得ることを目的としたアンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住いの就学前のお子さんの中から無作為に選ばせていただき、その保護者の方に協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございませんので、ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。

つきましては、お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月

三沢市

ご記入にあたってのお願い

1. あて名の子どもさんについて、保護者の方が記入してください。
2. お答えは、設問ごとに選択肢の中から選んで当てはまる番号に○印をつけていただく場合と、□内に数字を記入（右詰め）していただく場合があります。
3. 設問により選んでいただく数が異なりますので、お間違えのないようご注意ください。また、「その他」を選ばれた場合は、その後にある（ ）に具体的な内容を記入してください。
4. ご記入いただいた調査票は、11月●●日（木）までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。

この調査票についてご不明な点などがございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

三沢市 健康福祉部 家庭福祉課

〒033-0011 三沢市幸町三丁目11-5

TEL : 51 - 8772（直通） 53 - 5111（内線381）

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施予定）。

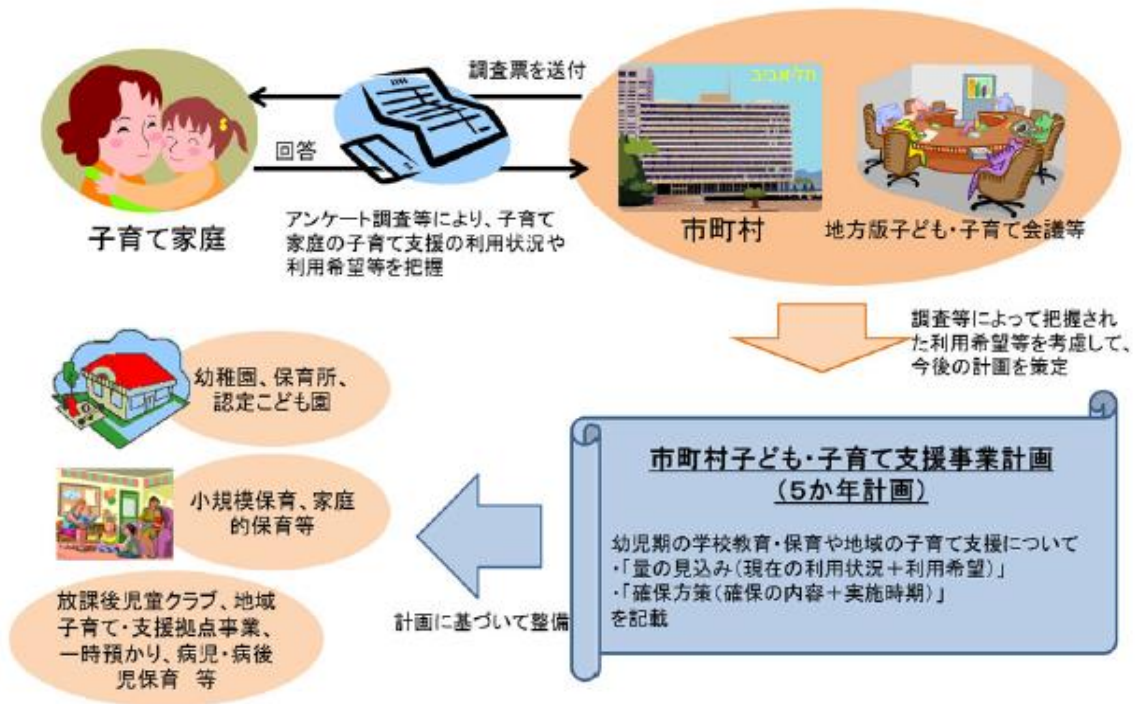
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1 古間木小学校区	春日台、古間木、古間木山、本町、薬師町
2 上久保小学校区	大町、上久保、栄町、新町、中央町3・4、千代田町、花園町 本町4、松園町2・3、猫又、平畑（基地外）
3 木崎野小学校区	泉町、桜町2・3、東町、日の出、深谷、松園町1、松原町 字下久保49/55/57/59/67番地、字堀口57/76/94/117/164番地、 字南山56/62/66/67/68/70番地 南町、美野原
4 岡三沢小学校区	岡三沢、幸町、桜町1、下久保、中央町1～2、東岡三沢、 平畑1・2、堀口、後久保、下久保41、平畑（基地内）、緑町 字南山81/85/88/71番地
5 三沢小学校区	五川目、大津、さつきヶ丘、淋代、前平、上野、上屋敷、北山 淋代平、下沢、下野、下堀、水筒、中平、字堀口2/5/6/11/13/ 15/16/17/23/29/36/166/179/180/253/264/265/266番地 前平（西）字南山11/47/48/50/51/53/54/57/58/89/91/93/98 番地、向平、山下、山ノ神、横沢、南山、四川目
6 三川目小学校区	鹿中、三川目、前平（東）、流平、港町
7 おおぞら小学校区	朝日、天ヶ森、織笠、越下、塩釜、新森、砂森、高野沢、富崎、 根井、細谷、戸崎、庭構、浜通、早稲田、六川目、谷地頭、八幡

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数	<input type="text"/>	人	末子の生年月	平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月生まれ
--------	----------------------	---	--------	----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 幼稚園
6. 保育所 7. 認定こども園 8. その他（ ）

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所 5. 認定こども園
6. その他（ ）

問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 問10へ | |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 (⇒ 問10へ)

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問10-1へ | 2. ない ⇒ 問11へ |
|-------------------|--------------|

問10-1 問10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他 () | |

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

<p>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない</p> <p>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である</p> <p>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない</p> <p>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である</p> <p>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</p> <p>6. これまで就労したことがない</p>	<p>⇒ (1)-1へ</p> <p>⇒ (2)へ</p>
---	-------------------------------

(1) -1 (1) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間
-------	---	---	-------	---	---	----

(1) -2 (1) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時間	□	□	時	帰宅時間	□	□	時
--------	---	---	---	------	---	---	---

(2) 父親【母子家庭の場合は記載不要】当てはまる番号1つに○をつけてください

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ (2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問14へ
6. これまで就労したことがない	

(2) -1 (1) で「1.~4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----

(2) -2 (1) で「1.~4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時~18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時
--------	----------------------	----------------------	---	------	----------------------	----------------------	---

問13 問12 の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12 の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり □日 1日当たり □□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり □日 1日当たり □□時間

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1 に示した事業が含まれます。

問15 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ 2. 利用していない ⇒ 問15-5へ

問15-1 問15-1～問15-4 は、問15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 家庭的保育 (育者の家庭等で子どもを保育する事業)	6. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
7. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)	8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業)	10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
11. その他 ()	

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。時間は、必ず(例)09時～18時のように24間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他 ()

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問17 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。

次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
2. その他当該自治体で実施している同様の事業（具体名：）
1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
3. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（自治体における料金設定を示す）

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
① 母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
② 保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ 家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ 教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の解放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥ 子育ての相談窓口	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦ 自治体発行の子育て支援情報誌	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧ 子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨ ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	}	⇒	利用したい時間帯	□ □ 時から □ □ 時まで)
2. ほぼ毎週利用したい				
3. 月に1～2回は利用したい				

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	}	⇒	利用したい時間帯	□ □ 時から □ □ 時まで
2. ほぼ毎週利用したい				
3. 月に1～2回は利用したい				

問20-1 問20 の(1) もしくは(2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	}	⇒	利用したい時間帯	□ □ 時から □ □ 時まで)
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい				
3. 休みの期間中、週に数日利用したい				

問21-1 問21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他（ | ） |

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15 で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問23 にお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. あった ⇒ 問22-1へ | 2. なかった ⇒ 問23へ |
|-----------------|----------------|

問22-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□ 日
イ. 母親が休んだ	□□ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□□ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
ケ. その他（	□□ 日

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 問22-3へ |
| 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問22-4へ |

⇒ 問22-5へ

3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
5. ベビーシッター	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
6. その他 ()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
7. 利用していない	

⇒ 問24へ

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない | 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない |
| 9. その他 () | |

問24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
ウ. 不定期の就労	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
エ. その他 ()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
2. 利用する必要はない	⇒ 問25へ

問24-1 問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例: 幼稚園・保育所等) |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例: 地域子育て支援拠点等) |
| 3. 地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業(例: ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他 () |

問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	カ. その他（ ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
2. なかった		

⇒ 問25-1へ

問25で「1. あったア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問26 へ

問25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

あて名のお子さんが5歳以上である方に小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館※1	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室※2	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館※	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室※2	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

問28 問26 または問27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯	
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		
		□ □ 時から □ □ 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯	
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		
		□ □ 時から □ □ 時まで

問29 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯	
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		
		□ □ 時から □ □ 時まで

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問30 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 □□□ 日
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んで記入ください）（いくつでも）	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んで記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問30で母親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問31へ

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問30-9へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 問31へ

(2) 父親

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | |
| 2. 現在も育児休業中である | ⇒ 問30-9へ |
| 3. 育児休業中に離職した | ⇒ 問31へ |

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

→ 問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

→ 問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □□ヶ月	希望 □ 歳 □□ヶ月
------------------	-------------

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □□ヶ月	希望 □ 歳 □□ヶ月
------------------	-------------

→ 問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

□ 歳 □□ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □□ヶ月

問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方

※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

②父親

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

(2)「希望」より遅く復帰した方

※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ | ） |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ | ） |

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問31 女性にとって、子どもを育てながら働くために重要な就労環境はどのようなことだと思いますか。(主なもの3つまでに○)

1. 夫が家事や育児を分担し、協力すること
2. 「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること
3. 低年齢児保育、病後児保育など多様な保育サービスを充実すること
4. 急な残業、出張など、仕事に合わせて柔軟に対応してくれる保育サービスが整備されること
5. 勤務時間の短縮、フレックスタイム導入、育児休業、看護休暇など、子育てに配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境であること
6. 労働条件や制度、職場環境が男性も子育てに参加できるようになっていること
7. 出産、育児のために退職した人が仕事に復帰できる再雇用制度が企業に整備されること
8. 育児期間中は自宅で仕事ができるなど働き方が柔軟な制度が企業に整備されること
9. 再就職のための職業訓練、就業・起業相談など女性の就業支援がなされていること
10. 企業内に保育施設が整備されること
11. 育児休業中の経済的支援が充実すること
12. その他 ()
13. わからない

すべての方に、子育て環境全般についてうかがいます。

問32 あなたは、子育てに関して不安や負担を感じますか。(1つに○)。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. まったく感じない | 3. やや不安や負担を感じる |
| 2. あまり不安や負担は感じない | 4. とても不安や負担を感じる |

問33 あて名のお子さんについての子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまるもの5つまでに○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからない
4. 子どもとの接し方に自信が持てない
5. 子どもとの時間を十分にとれない
6. 話し相手や相談相手がいらない
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できない
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
10. 登園拒否・不登校などに関すること
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない
12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わない
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などの周りの見目が気になる
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからない
18. その他 ()
19. 特にない

問38 本市は全体的に子育てのしやすい環境だと感じますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. とても子育てしやすいと思う | 4. あまり子育てしやすいとは思わない |
| 2. まあまあ子育てしやすいと思う | 5. 子育てしやすいとは思わない |
| 3. どちらともいえない | |

問39 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思えますか。当てはまるもの5つまでに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 産後支援の充実（例えば、新生児訪問事業など） |
| 2. 保育サービスの充実（一時保育、延長保育、休日保育等など） |
| 3. 放課後児童クラブ、子ども教室の充実（枠の拡大や時間の延長など） |
| 4. 相談窓口や情報提供などの子育て支援の充実 |
| 5. 安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備や小児救急医療などの小児医療の充実 |
| 6. 家庭における教育の支援など家庭の地域における教育力の向上 |
| 7. 子育て世代を対象にした良質な住宅の確保 |
| 8. 子ども・子ども連れの親が安全・安心に通行できる道路交通環境の整備や公共建築物等のバリアフリー化など安心して外出できる環境の整備 |
| 9. 仕事と生活のバランスがとれた多様な働き方の実現、男性を含めた働き方の見直しなど仕事と子育ての両立の推進 |
| 10. ひとり親家庭の自立支援の推進 |
| 11. 親子のふれあいや異世代交流の場づくり |
| 12. 子育てに伴う経済的支援の充実 |
| 13. 家庭内、配偶者間暴力（ドメスティックバイオレンス）対策の充実 |
| 14. 障害の原因となる疾病や事故の予防、早期発見・治療や障害児の健全な発達支援などの障害児対策の充実・幼児期からの一体となった特別支援教育 |
| 15. 保育園、児童センターなど子育て支援関連施設の整備 |
| 16. その他（ ） |

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信封筒に入れて切手はを貼らずに、ご投函ください。